

学生担当者報 5

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

Vol. 423
立教 185 年
2022 年
4 月 25 日発行

TEL 0743-63-1511(内線 5817) 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp



お知らせ

五月例会

期日：立教 185 年 5 月 25 日
時間：15 時 30 分受付 16 時開始
会場：第 38 母屋 9 階大広間

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【直属】

・磐城平	5 月 8 日	大教会
・津軽	5 月 20 日 12 時	大教会
・周東	5 月 21 日 12 時	大教会
・山陽	5 月 21 日 12 時	大教会
・中紀	5 月 22 日 12 時	大教会
・岐美	5 月 22 日 12 時	大教会
・西成	5 月 22 日 12 時 30 分	大教会
・南	5 月 22 日 14 時 30 分	大教会
・西宮	5 月 23 日 12 時	大教会
・防府	5 月 23 日 12 時	大教会
・旭日	5 月 24 日 11 時 10 分	大教会
・生駒	5 月 24 日 11 時 30 分	大教会

報告

・朝倉 5 月 25 日 16 時

詰所

三月例会

去る 3 月 25 日、教庁 4 階講堂において「3 月例会」を開催。出席は 15 教区、75 直属。

業務記録

《立教 185 年 3 月 16 日～4 月 15 日》

3 月 17 日	学生連絡会
19 日	事務局連絡会
24 日	担当者報チーム会議
24 日	担当者活動部部会
25 日	まなびばチーム会議
25 日	委員会、例会、担当者活動部部会
26 日	編集部部会
27 日	担当者活動部部会
28 日	春の学生おぢばがえり
29 日	人材育成部部会
4 月 4 日	勉強会チーム会議
6 日	研修会チーム会議

明日につながる学生WEBSITE Happist

https://happist.net



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介します
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

12 日 編集部部会
13 日 事務局連絡会

担当者報チーム会議
学生連絡会

学生に手軽にできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。
追加のご希望は学生担当委員会事務局編集部まで。

立教百八十五年 春の学生おぢばがえり

harugaku 185. 3. 28

春の陽気な日差しが降り注ぐ中、三年ぶりに教会本部中庭にて「立教百八十五年 春の学生おぢばがえり」式典が、道の学生千五百九十六名の参加のご守護をいただき開催されました。

今年も「次代を担うようぼくへ」をスローガに揚げ、学生一人ひとりが活動の集大成として、そして来る一年の成人を誓い会場として、活気に満ちあふれた式典となりました。

当日、真柱様より学生に向け親心あふれるメッセージ(代読)を頂き、今後の道の学生の歩み方をお示しく下さいました。

また奥様、大亮様、布恵様のご臨席をいただき、次代を担うようぼくへと成人することをお誓い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響がある中、久しぶりに学生が帰り集うことができた光景に、涙する方も多々おられました。

教区、直属の担当の先生方にはそれぞれのお立場で、学生のお世話取りにお尽くしいただき誠にありがとうございました。

次代を担うようぼくへ

立教百八十五年 春の学生おぢばがえり 実行委員長挨拶 橋本善希



本日は、奥様、大亮様、布恵様のご臨席を賜り、来賓の先生方をお招きして、

ここに「立教百八十五年 春の学生おぢばがえり」の式典を開催できたこと、心より感謝申し上げます。皆さんと共にこの日を目指し、無事に迎えた喜びを分かち合いたいという一心で、今日まで話し合いを重ねてきました。こうしておぢばに帰り集えたことに大きな喜びを感じております。皆さん、ようこそおぢばにお帰りくださいました。

学生担当者報

「春の学生おぢばがえり」は、新型コロナウイルスの影響により一昨年は中止になり、昨年はオンラインでの動画配信とおぢばがえり

り推進期間での開催となりました。今日まで思うようにいかないことが多く、きつと皆さんももどかし、悔しい思いをたくさんしてきたことと思います。しかし、新型コロナウイルスのふしをそれぞれが思案して、一年間通ってきたからこそ、気付けたこともあったのではないのでしょうか。人と会うことができた時、外に出られるようになった時、今まで以上に皆さんの喜びを感じられたと思います。そして同じ境遇を持つ仲間が周りにいたからこそ助け合うことができ、こうして今日まで通ることができたのではないのでしょうか。私はこの一年間の中で素直に喜べず下を向きかけたこともありましたが、皆さんに助けられ、「もっ

と頑張ろう！」と思うことが出来ました。そして、皆さんと一緒に通ることの大切さ、偉大さを感じることができました。また、このふしを通しておぢばは尊い場所であることや、当たり前がありがたいということをお伝えしていただきました。このように本部中庭で開催できたことも、親神様・教祖の親心はもとより、先生方や全国の皆さんのお力添えを頂いたおかげです。今日この日を無事に迎えられることに感謝の気持ちでいっぱい입니다。この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

ただ今から、真柱様より私たち

道の学生に向けて、メッセージを頂戴致します。しっかりと心に治めさせていただき、これからの指針とし、共に次代を担うようぼくへと成人していくことを誓い合います。

学生担当者報

決意表明

立教百八十五年 春の学生おぢばがえり 大岩恵奈



本日は、「立教百八十五年 春の学生おぢばがえり」の式典を無事に開催

することができたことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。私たち道につながる学生は、先ほど頂戴した真柱様のメッセージを心に治め、一手一つに成人の道を歩ませていただきます。

私たちは、まだまだ経験も浅く、成人の道を歩む上で、わからないことがたくさんあり、壁にぶつかることもあると思います。そのような時こそ、道につながる皆さんの仲間と手を取り合い、日々の親神様の守護に感謝して通らせていただきます。また、私たちは今、新型コロナウイルスのふしの中にあります。私自身も、自由に外に出られなかったり、人に会えなかったりと辛い思い

をすることもありました。しかし、私たちは会えない中でも人とつながれることや、当たり前だと思っていた日常生活がいかにありがたかったかということに気付かせていただきました。このふしに込められた親心を深く思索し、ふしから芽が出るよう、ゴミ拾いやトイレ掃除など、身近なひのきしんの実践、そして、周りに悩んでいる子がいれば側に寄り添うなど、身近なおたすけに取り組みんでいきます。また、自分自身が喜び、感謝する姿を周りに映していく、仲間を元気づけられるよう日々勇んで通らせていただきます。今日、ここに帰り集った仲間、そして全国にいる道の仲間と共に、教祖のひながたをたどり、日々頂戴しているご恩への感謝を忘れず、次代を担うようぼくへと成人していくことをここに決意します。

青空

私がこの三年間の勤務で感じたことは、おぢばの行事は、当たり前前にあるものではないこと、そして本当に皆さんの人々のひのきしん精神によって成り立っているということ。

私たち局員が勤務の一環として行っていることも、他のスタッフの方々は、自分の仕事やご用の合間を縫って、また休みを取って行ってくださいています。そして、一つの行事を運営するためには、多くの時間と労力がかかっています。

私は学生時代、学生会行事にはただの参加者として、何も考えず参加してしましました。正直その時のことはあまり覚えていませんが、嫌がらずに参加していたので、楽しんでいただけたと思います。それは行事に関わった方々が多くの方を力をつけてくださったおかげだと思います。そして今では当たり前前に行事に参加できていたのはありがたいことだったのだと感じます。

そのことに気付く機会を与えていただいたことに感謝いたします。三年間ありがとうございました。

庶務会計部 局員 太田里緒